

2025年3月期第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2024年11月8日

<https://www.keikyu.co.jp>



株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が算出する「JPX日経インデックス400」の2024年度（2024年8月30日～2025年8月28日）の構成銘柄に当社が選定されました。

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II. 2025年3月期 第2四半期決算実績	P. 5
III. 2025年3月期 業績予想	P. 21

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II. 2025年3月期 第2四半期決算実績	P. 5
III. 2025年3月期 業績予想	P. 21

対前年同期（2023年度2Q）

営業収益：1,409億円（対前年同期+10.1%）
営業利益：190億円（+37.6%）
親会社株主に帰属する中間純利益：136億円（+48.4%）

- 前期の交通事業における運賃改定効果などにより、**増収増益**
- 業績が好調に推移したことに加え、長野京急カントリークラブ事業の承継に伴い法人税等が減少したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は、**大幅増益**

期初予想（上期）に対する進捗

【上期予想超過達成幅】

営業収益：+19億円
営業利益：+37億円
親会社株主に帰属する中間純利益：+52億円

- 営業収益は、およそ想定どおりの推移
- 営業利益は、交通事業および不動産販売業を中心に全事業で**上振れ推移**

通期業績予想修正内容

営業収益：3,030億円（対期初予想△24億円）
営業利益：330億円（+30億円）
親会社株主に帰属する当期純利益：215億円（+47億円）

- 営業収益は、不動産販売業における分譲マンション販売の進捗の遅れを反映し、通期予想を下方修正
- 営業利益は、下期へ期ずれとなった費用の執行も見込みつつ、各事業の堅調推移を下期に反映し、通期予想を**上方修正**
- 利益予想の上方修正に伴い、**年間配当額を2.0円増配し、18.0円（配当性向23.0%）とする予定**

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II. 2025年3月期 第2四半期決算実績	P. 5
III. 2025年3月期 業績予想	P. 21

連結決算実績（概要）

KEIKYU

（単位：百万円）

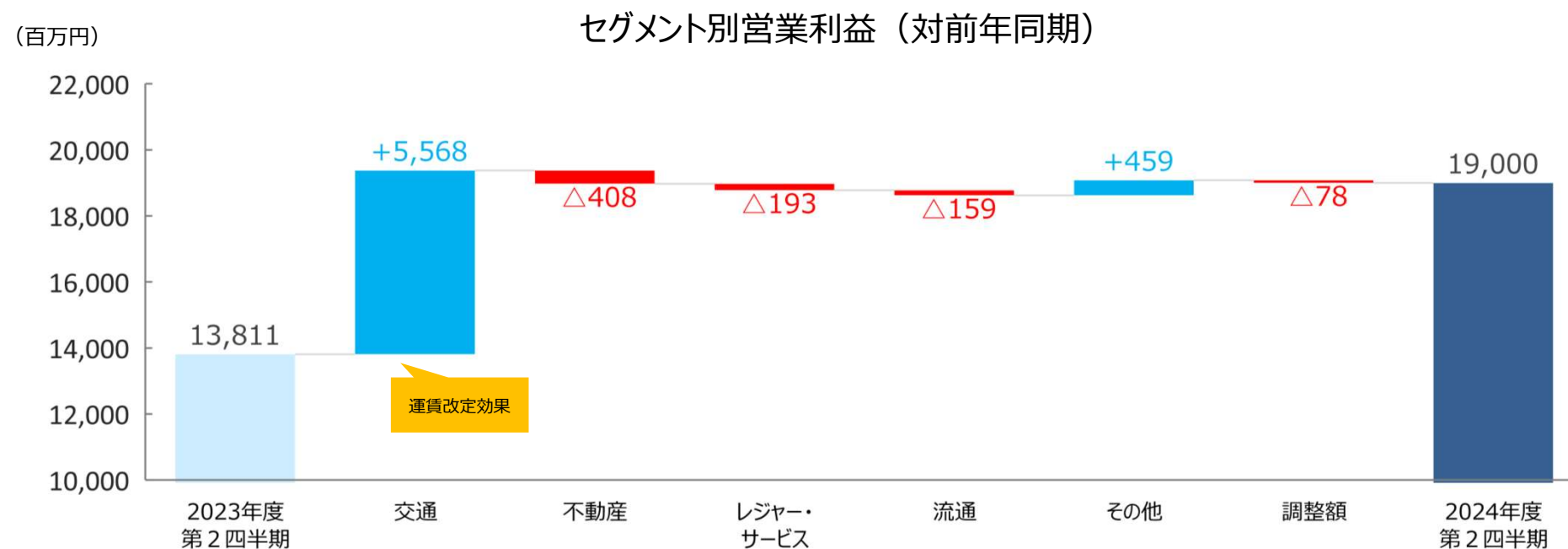
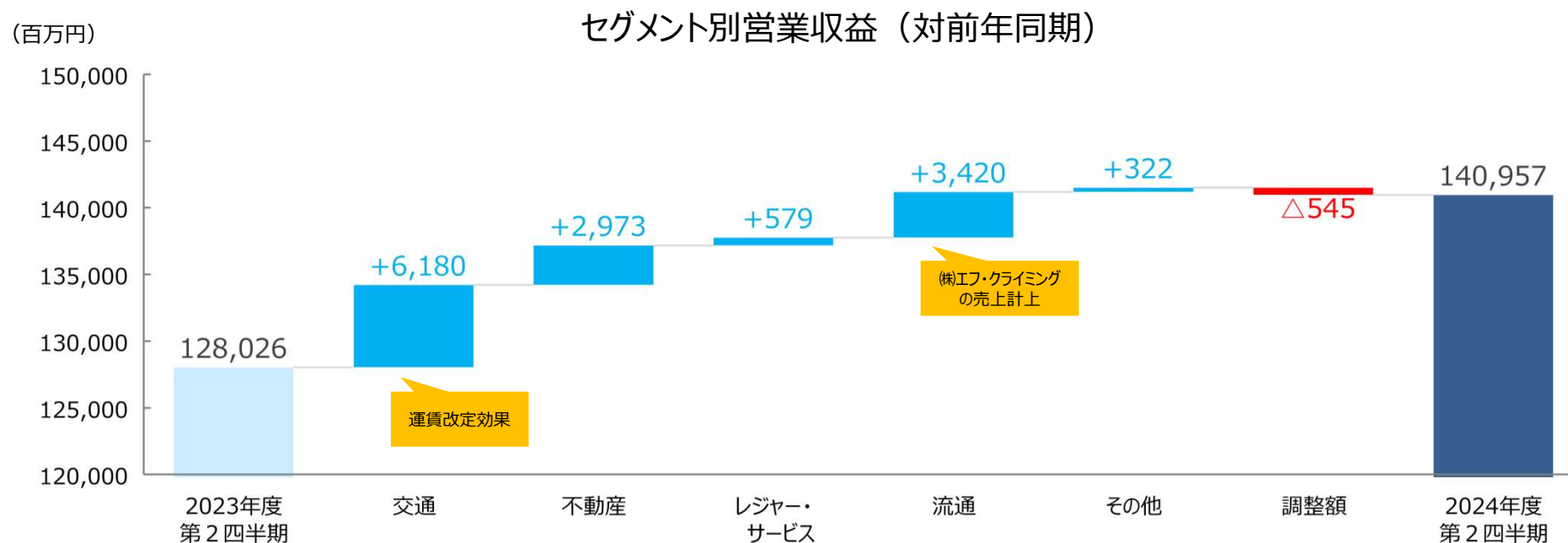
	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
営業収益	128,026	140,957	+12,931	+10.1%	139,000	101.4%
営業利益	13,811	19,000	+5,188	+37.6%	15,300	124.2%
経常利益	13,628	18,333	+4,704	+34.5%	14,200	129.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益	9,206	13,663	+4,456	+48.4%	8,400	162.7%

				2024年度 2Q実績	期初予想 (通期) 進捗率
1株当たり 中間純利益	33.45円	49.72円	+16.27円	26,084	22.1%
			設備投資額 (うち、不動産流動化 SPC出資)	(6,700)	(44.7%)

連結決算実績（セグメント別）

(単位：百万円)

		2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
交通事業	営業収益	53,166	59,346	+6,180	+11.6%	58,500	101.4%
	営業利益	6,136	11,704	+5,568	+90.8%	10,400	112.5%
不動産事業	営業収益	20,731	23,705	+2,973	+14.3%	23,800	99.6%
	営業利益	3,770	3,362	△408	△10.8%	2,100	160.1%
レジャー・ サービス事業	営業収益	14,534	15,114	+579	+4.0%	15,100	100.1%
	営業利益	2,472	2,279	△193	△7.8%	1,800	126.6%
流通事業	営業収益	35,785	39,205	+3,420	+9.6%	38,600	101.6%
	営業利益	1,120	961	△159	△14.2%	800	120.2%
その他	営業収益	16,664	16,987	+322	+1.9%	18,500	91.8%
	営業利益	88	547	+459	+521.9%	0	—



【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想
営業収益	鉄道・バス事業： 運賃改定・移動需要の回復による増	鉄道・バス事業： 移動需要の回復による増
営業利益	－	バス事業： 運行の効率化等による人件費等の減

(単位：百万円)

	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	53,166	59,346	+6,180	+11.6%
鉄道事業	36,795	41,862	+5,066	+13.8%
バス事業	14,511	15,575	+1,063	+7.3%
タクシー事業	1,858	1,908	+49	+2.7%
営業利益	6,136	11,704	+5,568	+90.8%
鉄道事業	5,449	10,298	+4,849	+89.0%
バス事業	718	1,476	+758	+105.5%
タクシー事業	△31	△70	△38	－

<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

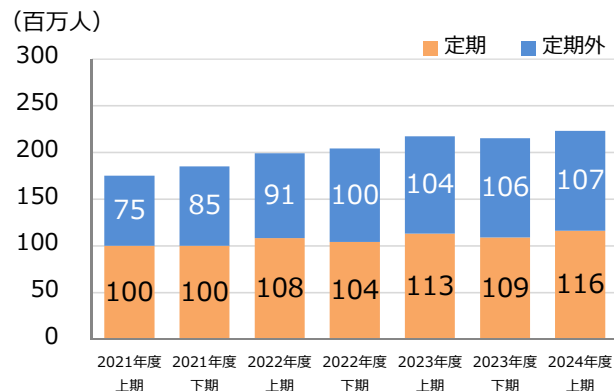
(単位：千人)

	輸送人員					
	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減数	増減率	上期予想	達成率
定期	113,009	116,179	+3,170	+2.8%	114,705	101.3%
定期外	104,744	107,821	+3,077	+2.9%	106,721	101.0%
合計	217,753	224,000	+6,247	+2.9%	221,426	101.2%

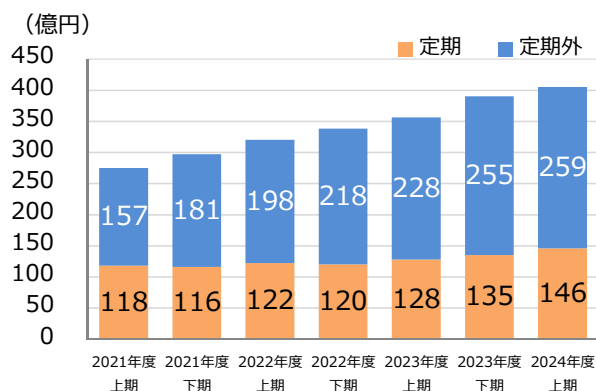
(単位：百万円)

	旅客運輸収入					
	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
定期	12,849	14,665	+1,816	+14.1%	14,554	100.8%
定期外	22,823	25,949	+3,125	+13.7%	25,847	100.4%
合計	35,673	40,615	+4,942	+13.9%	40,401	100.5%

<鉄道事業 輸送人員推移>



<鉄道事業 旅客運輸収入推移>



<鉄道事業 主な営業費>

(単位：百万円)

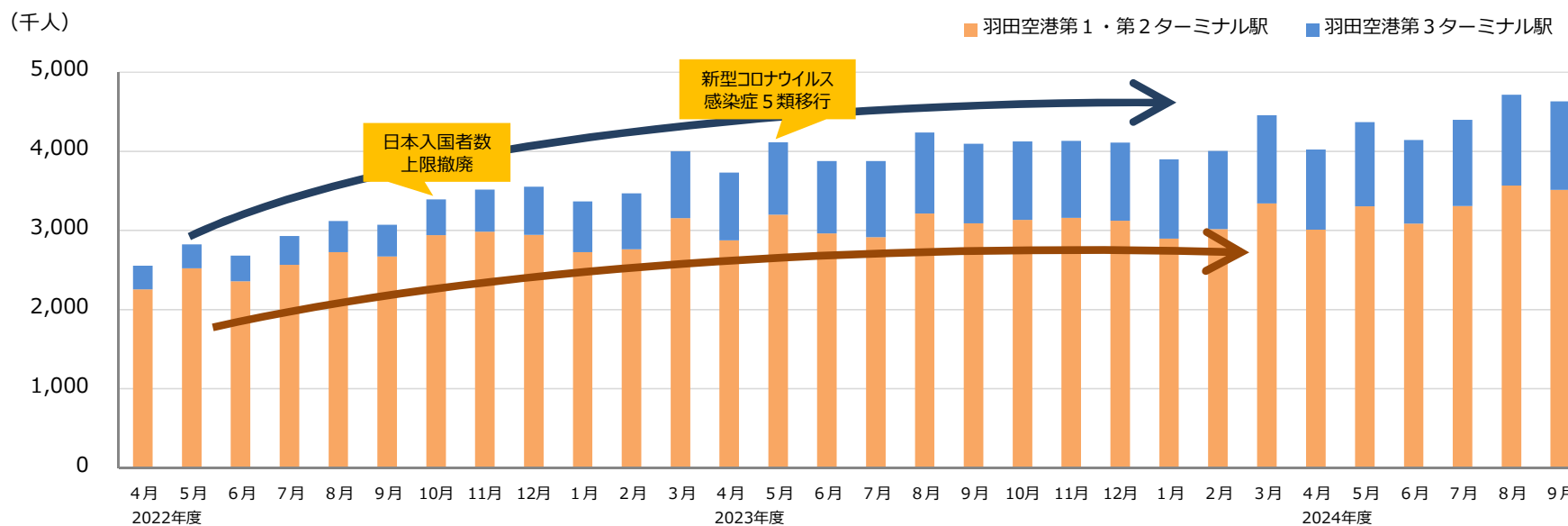
	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額
人件費	9,326	9,293	△33
電気動力費	2,652	2,467	△184
修繕工事費	1,892	1,877	△15
固定資産除却費	231	252	+21
減価償却費	8,487	8,350	△136

<羽田空港 2 駅の輸送人員>

(単位：千人)

	輸送人員					
	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減数	増減率	上期予想	達成率
羽田空港第1・第2 ターミナル駅	18,247	19,785	+1,538	+8.4%	19,201	103.0%
羽田空港第3 ターミナル駅	5,677	6,484	+807	+14.2%	6,299	102.9%
合計	23,924	26,269	+2,345	+9.8%	25,500	103.0%

<羽田空港 2 駅の月別輸送人員推移>



【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想
営業収益	不動産販売業： 事業用地の持分売却による増 マンション分譲：25戸（対前年同期△96戸） 不動産賃貸業： 投資した不動産ファンドからの配当収入の増 5月に開業した横浜シンフォステージ賃貸オフィスの賃料収入による増	不動産販売業： マンション分譲：対上期予想+5戸
営業利益	不動産賃貸業： 横浜シンフォステージの開業に伴い、費用が増加したことによる減	不動産事業： 粗利益の増加や経費の期ずれ

(単位：百万円)

	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	20,731	23,705	+2,973	+14.3%
不動産販売業	11,480	14,137	+2,657	+23.1%
不動産賃貸業	9,251	9,567	+316	+3.4%
営業利益	3,770	3,362	△408	△10.8%
不動産販売業	1,189	991	△198	△16.7%
不動産賃貸業	2,581	2,371	△209	△8.1%

<2024年度 2 Q時点の主な引渡し物件>

(単位：戸)	総戸数	引渡し開始時期
プライム横浜井土ヶ谷	95	2023年11月
プレミアムレジデンス横須賀中央	184	2024年 2 月
プライムフィット横浜富岡	64	2024年 3 月
プライム川崎	199	2024年 3 月

【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想
営業収益	ビジネスホテル業： 稼働率（+5.2pt.）・客室単価（+10.7%）上昇による増 レジャー関連施設業： 前期にホテル京急油壺観潮荘が営業終了したことによる減	ビジネスホテル業： 稼働率（+2.8pt.）・客室単価（+2.2%）上振れ
営業利益	レジャー関連施設業・レジャーその他： 人件費の増加などによる減	ビジネスホテル業： 既存館の改装時期の遅れによる費用の期ずれ

（単位：百万円）

	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	14,534	15,114	+579	+4.0%
ビジネスホテル業	3,925	4,771	+845	+21.5%
レジャー関連施設業	5,991	5,769	△222	△3.7%
レジャーその他	4,617	4,574	△43	△0.9%
営業利益	2,472	2,279	△193	△7.8%
ビジネスホテル業	754	885	+130	+17.3%
レジャー関連施設業	1,196	1,022	△174	△14.6%
レジャーその他	522	372	△149	△28.7%

<京急EXホテル・京急EXイン客室稼働率>

	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減数
稼働率	82.0%	87.2%	+5.2pt.

※ 2024年度でホテル1館を開業。

[開業：みなとみらい横浜]

	2024年 3月末	2024年 9月末
客室数 (室)	2,236	2,386

【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想
営業収益	百貨店業・SC業： 百貨店における外商売上の増加やS C業における都内店舗を中心とした館の売上好調などによる増 ストア業： 子会社化した(株)エフ・クライミングの売上計上やS MおよびC V Sの既存店の客数好調による増	—
営業利益	ストア業： 水道光熱費および人件費の増加による減	百貨店・S C業： 設備投資の峻別による減価償却費の減等

(単位：百万円)

	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	35,785	39,205	+3,420	+9.6%
百貨店・S C業	7,866	8,179	+313	+4.0%
百貨店業	6,004	6,200	+195	+3.3%
S C業	1,861	1,979	+117	+6.3%
ストア業	27,919	31,026	+3,107	+11.1%
スーパーマーケット業	20,876	23,726	+2,849	+13.6%
コンビニ・物販業ほか	7,042	7,299	+257	+3.7%
営業利益	1,120	961	△159	△14.2%
百貨店・S C業	374	472	+97	+26.0%
百貨店業	168	159	△9	△5.4%
S C業	206	312	+106	+51.7%
ストア業	745	489	△256	△34.4%
スーパーマーケット業	287	49	△237	△82.8%
コンビニ・物販業ほか	458	439	△19	△4.2%

【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想
営業収益	建物総合管理業務等の新規受注による増	完成工事の減少等による減
営業利益	-	人件費の減少等

(単位：百万円)

	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	16,664	16,987	+322	+1.9%
営業利益	88	547	+459	+521.9%

2023・2024年度連結決算実績（四半期別）

(単位：百万円)

		2023年度				2024年度			
		1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	2Q対1Q	
交通事業	営業収益	26,441	26,724	28,625	28,433	29,581	29,764	バス運賃改定（空港・中距離）	
	営業利益	2,349	3,786	4,139	565	4,872	6,832	1Qにおける賞与計上の反動減	
不動産事業	営業収益	9,818	10,912	16,167	23,752	16,573	7,131	1Qの事業用地の持分売却の反動減	
	営業利益	1,441	2,329	3,089	2,800	2,243	1,119		
レジャー・サービス事業	営業収益	7,202	7,332	7,607	7,780	7,393	7,721	競艇事業の舟券売上の増加	
	営業利益	1,193	1,279	1,343	751	908	1,370		
流通事業	営業収益	17,628	18,157	19,089	17,574	18,341	20,864	㈱エフ・クライングの売上計上	
	営業利益	508	612	719	246	577	384	百貨店業の外商売上特需の反動減	
その他	営業収益	6,592	10,072	9,231	20,266	7,273	9,714	完成工事の増加	
	営業利益	△138	226	411	1,030	0	546		
営業収益		62,041	65,984	72,511	80,087	72,860	68,097		
営業利益		5,505	8,305	9,540	4,688	8,709	10,291		
経常利益		5,408	8,220	9,135	5,638	8,523	9,810		
親会社株主に帰属する四半期純利益		3,721	5,485	6,194	68,348	6,895	6,768		
鉄道旅客運輸収入	定期	6,434	6,414	6,728	6,870	7,337	7,327		
	定期外	11,379	11,443	12,789	12,756	12,973	12,975		
	合計	17,814	17,858	19,518	19,626	20,311	20,303		

営業外・特別損益

(単位：百万円)

	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績	増減額	主な内訳
営業外収益	2,005	1,440	△565	投資有価証券売却益 92 (対前年同期 △680)
営業外費用	2,188	2,107	△81	
特別利益	73	171	+97	工事負担金等受入額 135 (対前年同期 +94)
特別損失	655	1,786	+1,130	固定資産除却損 1,019 (対前年同期 +945) 事業譲渡損 423 (対前年同期 +423) 固定資産圧縮損 135 (対前年同期 +94)

連結貸借対照表（概要）

（単位：百万円）

	2024年3月末	2024年9月末	増減額	主な増減理由
流動資産	242,157	188,304	△53,852	現金及び預金： [主な減少理由] ・前期の高輪3丁目土地持分一部譲渡などにかかる未払法人税等の支払い ・品川駅付近連続立体交差事業の工事進捗に伴う支払い
現金及び預金	149,223	87,650	△61,572	
分譲土地建物	65,451	74,441	+8,990	
固定資産	844,745	851,374	+6,628	
有形固定資産	680,050	679,798	△251	
投資その他の資産	156,500	162,427	+5,926	
投資有価証券	103,100	109,363	+6,263	
資産合計	1,086,902	1,039,678	△47,223	
負債合計 (注1)	729,204	670,589	△58,615	
有利子負債残高 (注2)	487,374	474,963	△12,411	
純資産合計 (注1)	357,697	369,089	+11,392	
負債純資産合計	1,086,902	1,039,678	△47,223	
純有利子負債残高	338,151	387,312	+49,161	
自己資本比率	32.7%	35.2%	+2.5pt.	

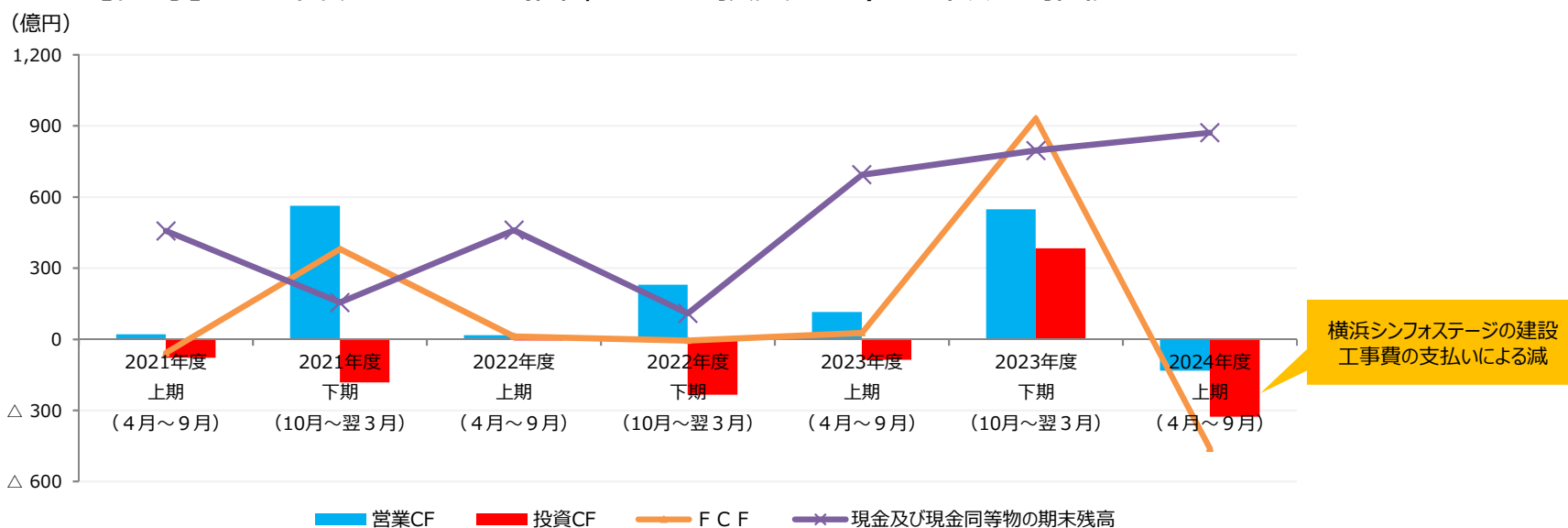
(注1) 会計基準の遡及適用により、2024年3月末の繰延税金負債13百万円を利益剰余金に振り替えたため、2024年3月末の負債合計と純資産合計を変更した。

(注2) 社債、借入金の合計額

(単位：百万円)

	2023年度 2 Q実績	2024年度 2 Q実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,474	△13,314	△24,788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,776	△32,700	△23,924
フリーキャッシュフロー	2,698	△46,014	△48,712
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,641	△16,327	△25,969
現金及び現金同等物の増減額	12,444	△61,952	△74,397
現金及び現金同等物の中間期末残高	69,414	87,120	+17,706

【参考】フリーキャッシュフロー（営業CF + 投資CF）の半期別推移



I. エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II. 2025年3月期 第2四半期決算実績	P. 5
III. 2025年3月期 業績予想	P. 21

連結損益計算書（業績予想）

KEIKYU

（単位：億円）

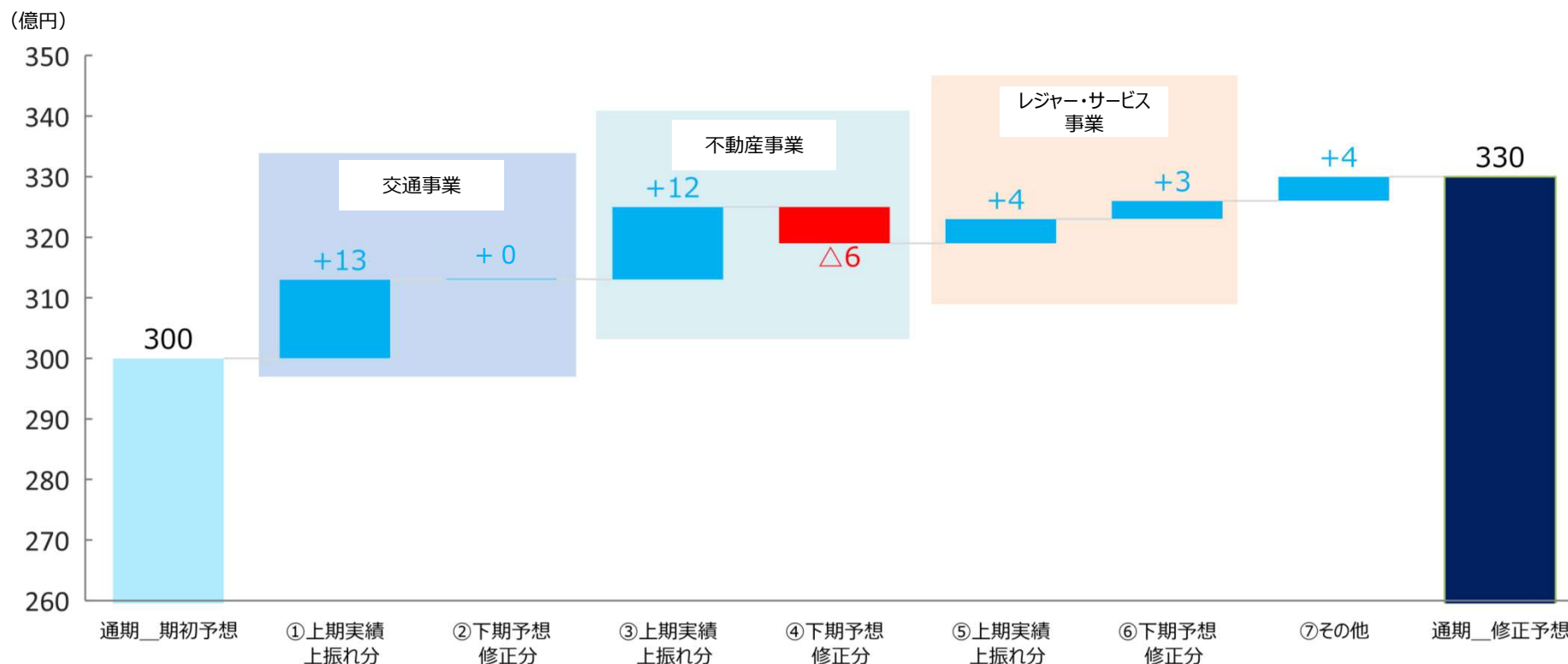
	期初予想			修正予想			増減額（通期）	増減額（下期）
	通期予想	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想		
営業収益	3,054	1,390	1,664	3,030	1,409	1,620	△24	△43
営業利益	300	153	147	330	190	139	+30	△7
経常利益	278	142	136	312	183	128	+34	△7
親会社株主に帰属する 当期純利益	168	84	84	215	136	78	+47	△5

（単位：億円）

	期初予想	修正予想	増減額
設備投資額 ※ （うち、不動産流動化SPC出資）	1,180 (150)	1,126 (173)	△53 (+23)
減価償却費	292	287	△4
1株当たり 当期純利益	61.03円	78.23円	+17.20円

※ 工事負担金等（期初予想・修正予想ともに165億円）を含む

2024年度業績予想について（営業利益）



	上期実績上振れ分	下期予想修正分
修正要因	<p>① 交通事業：+約13億円 運行の効率化等による人件費等の減</p> <p>③ 不動産事業：+約12億円 粗利益の増加や経費の期ずれ</p> <p>⑤ レジャー・サービス事業：+約4億円 ビジネスホテルの稼働率・客室単価好調等</p>	<p>② 交通事業： 移動需要の増はあるものの、鉄道経費等の増加が相殺</p> <p>④ 不動産事業：△6億円 分譲マンション販売の進捗の遅れによる減</p> <p>⑥ レジャー・サービス事業：+約3億円 ビジネスホテル業の好調推移</p>

セグメント情報（業績予想）

（単位：億円）

		期初予想			修正予想			増減額（通期） （③－①）	増減額（下期） （④－②）	2023年度 ⑤	増減率 （③÷⑤－1）
		通期予想 ①	上期予想	下期予想 ②	通期予想 ③	上期実績	下期予想 ④				
交通事業	営業収益	1,163	585	578	1,179	593	585	+16	+7	1,102	+7.0%
	営業利益	162	104	58	176	117	58	+14	+0	108	+62.3%
不動産事業	営業収益	706	238	468	662	237	424	△44	△43	606	+9.1%
	営業利益	64	21	43	70	33	36	+6	△6	96	△27.5%
レジャー・サービス事業	営業収益	309	151	158	312	151	160	+3	+2	299	+4.3%
	営業利益	38	18	20	46	22	23	+8	+3	45	+0.7%
流通事業	営業収益	793	386	407	801	392	408	+8	+1	724	+10.6%
	営業利益	18	8	10	18	9	8	+0	△1	20	△13.7%
その他	営業収益	476	185	291	471	169	301	△5	+10	461	+2.0%
	営業利益	21	0	21	24	5	18	+3	△2	15	+56.9%

（単位：億円）

	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 (②-①)	2023年度 ③	増減率 (②÷③-1)	予想修正理由
営業収益	1,163	1,179	+16	1,102	+7.0%	【鉄道・バス事業】 移動需要の回復による増
鉄道事業	826	833	+7	771	+7.9%	
バス事業	298	308	+10	293	+4.9%	
タクシー事業	39	38	△1	36	+3.0%	
営業利益	162	176	+14	108	+62.3%	
鉄道事業	154	157	+3	96	+62.3%	
バス事業	8	20	+12	12	+58.4%	
タクシー事業	0	△1	△1	△0	-	

<鉄道事業 主な営業費>

（単位：億円）

	期初予想	修正予想	増減額
人件費	194	194	△0
電気動力費	48	48	+0
修繕工事費	54	56	+1
固定資産除却費	11	11	△0
減価償却費	171	170	△1

<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

(単位：百万人)

	輸送人員				
	期初予想 ①	修正予想 ②	増減数 (②-①)	2023年度 ③	増減率 (②÷③-1)
定期	224	227	+3	222	2.5%
定期外	214	216	+2	211	2.6%
合計	438	444	+5	433	2.5%

(単位：億円)

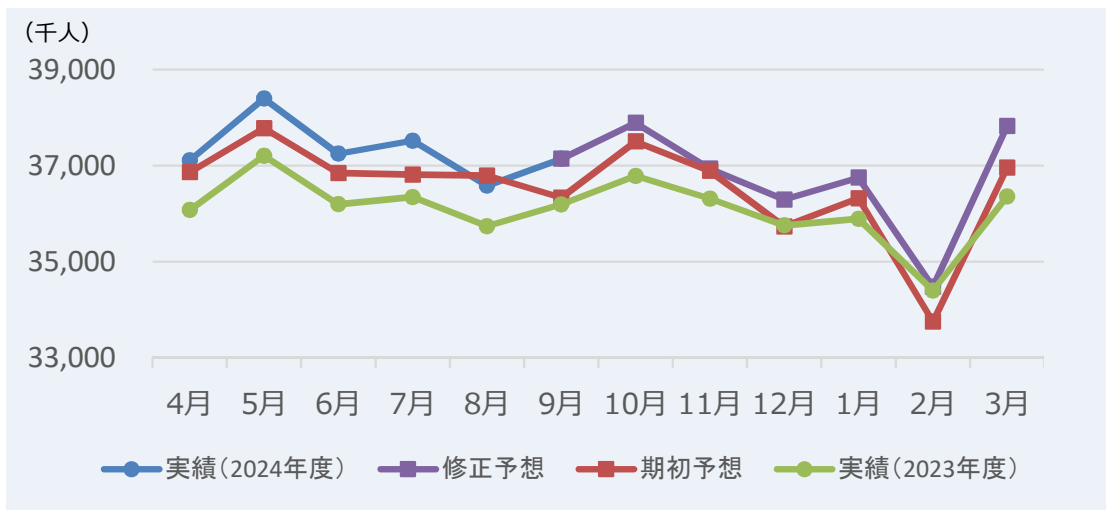
	旅客運輸収入				
	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 (②-①)	2023年度 ③	増減率 (②÷③-1)
定期	287	289	+2	264	9.4%
定期外	516	519	+2	483	7.3%
合計	803	808	+4	748	8.1%

<羽田空港2駅合計の輸送人員>

(単位：百万人)

	輸送人員				
	期初予想 ①	修正予想 ②	増減数 (②-①)	2023年度 ③	増減率 (②÷③-1)
羽田空港第1・第2ターミナル駅	38	39	+1	36	7.1%
羽田空港第3ターミナル駅	12	12	+0	11	10.7%
合計	50	52	+1	48	8.0%

<全線輸送人員の予想推移>

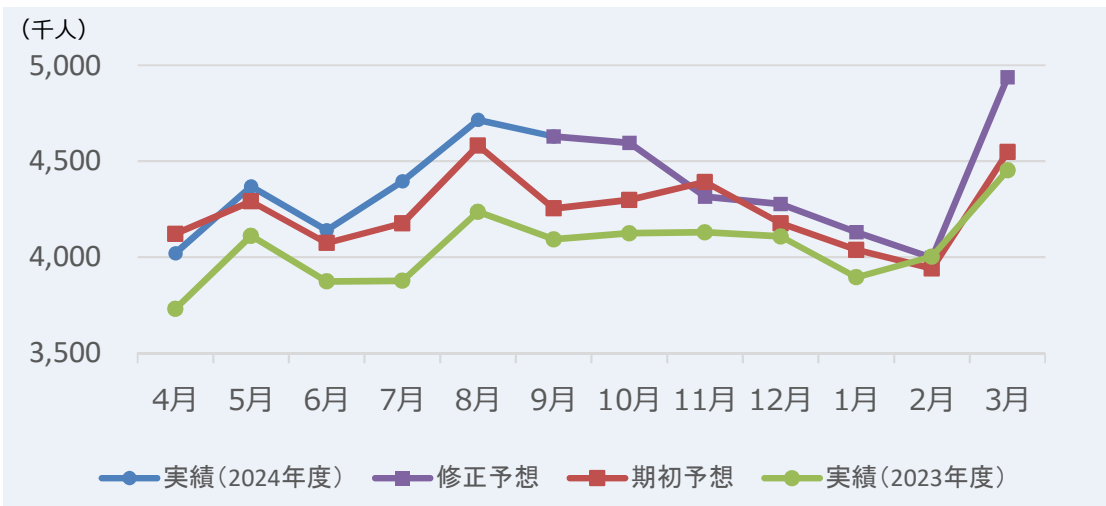


<全線合計の予想 (対前年)>

(単位：%)

	2024年度 上期		2024年度 下期		2024年度 通期	
	期初予想	実績	期初予想	修正予想	期初予想	修正予想
定期	+2%	+2%	+1%	+2%	+1%	+2%
定期外	+2%	+2%	+1%	+2%	+1%	+2%
合計	+2%	+2%	+1%	+2%	+1%	+2%

<羽田空港2駅の輸送人員の予想推移>



<羽田空港2駅の予想 (対前年)>

(単位：%)

	2024年度 上期		2024年度 下期		2024年度 通期	
	期初予想	実績	期初予想	修正予想	期初予想	修正予想
羽田空港2駅	+6%	+10%	+2%	+6%	+4%	+8%

不動産事業（業績予想）

（単位：億円）

	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 (②-①)	2023年度 ③	増減率 (②÷③-1)	予想修正理由
営業収益	706	662	△44	606	+9.1%	【不動産販売業】 分譲マンション販売の進捗の遅れによる減
不動産販売業	513	469	△44	419	+11.9%	
不動産賃貸業	193	193	+0	187	+3.1%	
営業利益	64	70	+6	96	△27.5%	【不動産販売業】 宣伝費等経費の効率化による減
不動産販売業	29	32	+2	49	△35.4%	
不動産賃貸業	34	38	+3	47	△19.3%	

<2024年度主な引渡し物件>

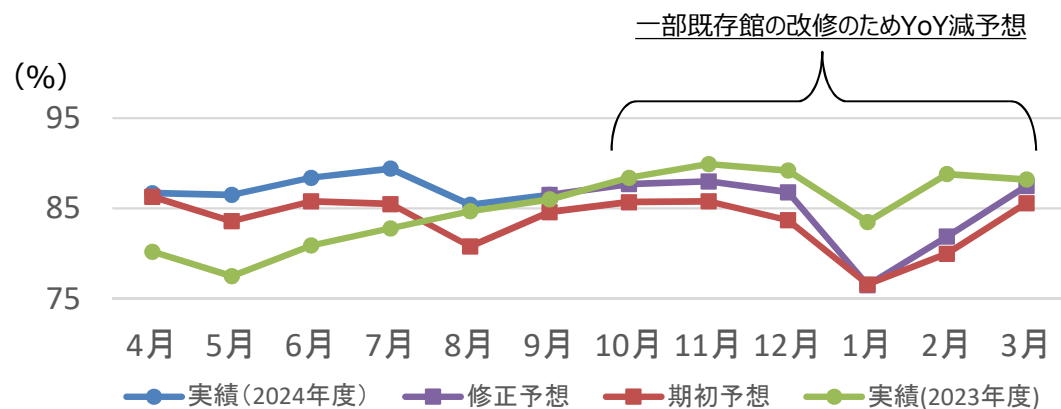
(単位：戸)	総戸数	引渡し開始時期 (予定)
プライム横浜岸谷	115	2025年2月
プライムスタイル横浜生麦	63	2025年2月
プライムパークス横浜並木 ザ・レジデンス (東敷地)	199	2025年3月
プライムフィット横浜富岡	64	2024年3月

レジヤ-サービス事業（業績予想）

（単位：億円）

	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 (②-①)	2023年度 ③	増減率 (②÷③-1)	予想修正理由
営業収益	309	312	+3	299	+4.3%	【ビジネスホテル業】 稼働率想定：86.0%（対期初予想 約+2pt.） A D R想定：対期初予想 約+3%
ビジネスホテル業	91	95	+4	82	+15.1%	
レジヤ-関連施設業	120	119	△1	118	+0.8%	
レジヤ-その他	98	98	+0	98	△0.6%	
営業利益	38	46	+8	45	+0.7%	
ビジネスホテル業	11	18	+7	16	+8.4%	
レジヤ-関連施設業	20	20	+0	19	+5.0%	
レジヤ-その他	7	8	+1	10	△20.2%	

<稼働率の推移>



	2024年度 上期実績	2024年度 下期予想	2024年度 通期予想
稼働率	87%	84%	86%

流通事業（業績予想）

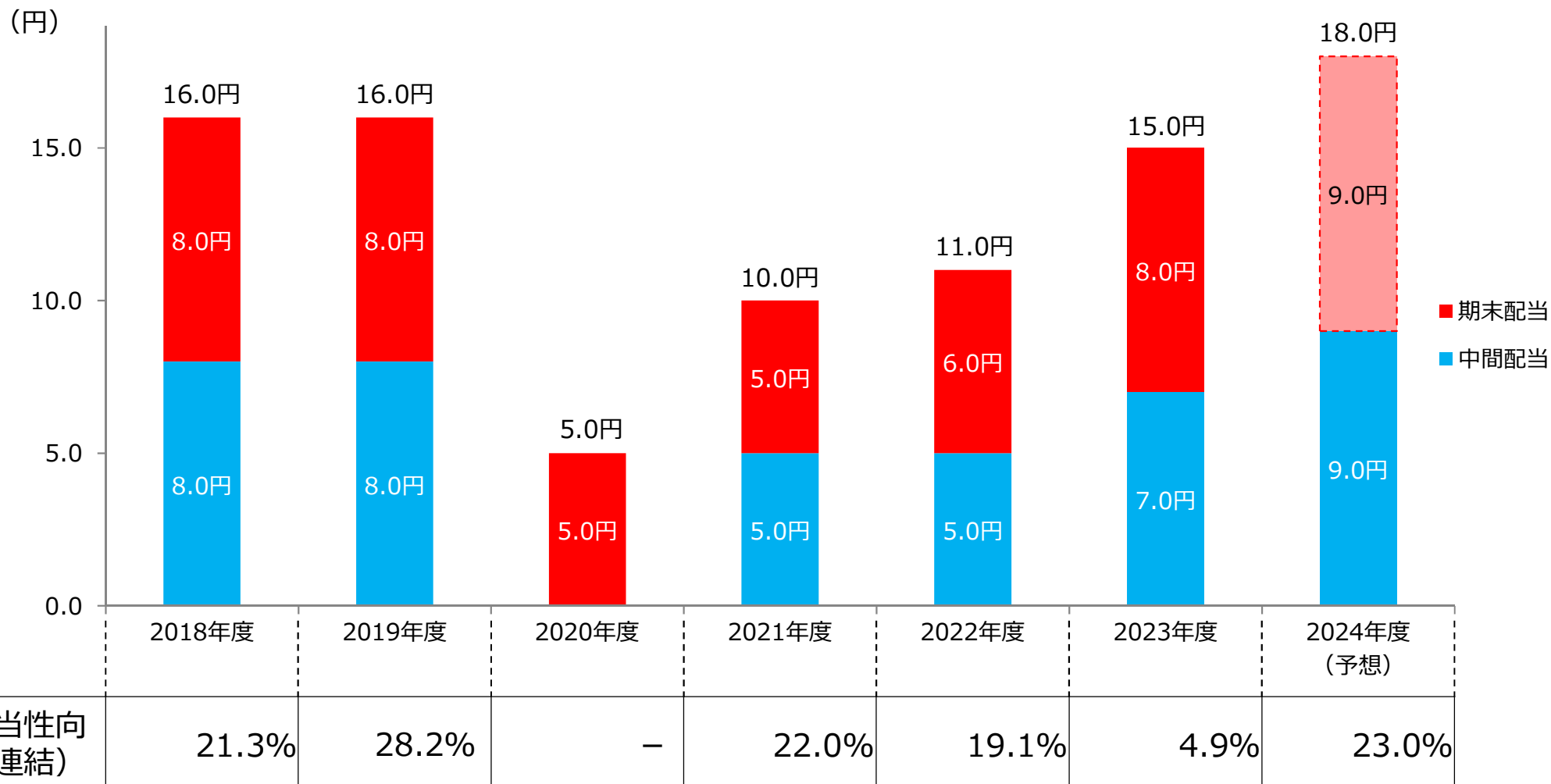
(単位：億円)

	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 (②-①)	2023年度 ③	増減率 (②÷③-1)	予想修正理由
営業収益	793	801	+8	724	+10.6%	
百貨店・S C 業	161	162	+0	162	△0.6%	
百貨店業	124	122	△2	126	△3.2%	
S C 業	37	40	+2	36	+8.4%	
ストア業	631	639	+7	561	+13.8%	
スーパーマーケット業	490	495	+5	423	+17.0%	
コンビニ・物販業ほか	141	144	+2	138	+4.0%	
営業利益	18	18	+0	20	△13.7%	【ストア業】 ・水道光熱費および人件費の増加による減
百貨店・S C 業	6	7	+1	7	△2.5%	
百貨店業	2	2	+0	3	△23.1%	
S C 業	4	5	+0	4	+12.6%	
ストア業	11	10	△1	13	△20.2%	
スーパーマーケット業	4	3	△1	5	△43.9%	
コンビニ・物販業ほか	7	7	+0	7	△4.0%	

（単位：億円）

	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 (②-①)	2023年度 ③	増減率 (②÷③-1)	予想修正理由
営業収益	476	471	△5	461	+2.0%	
営業利益	21	24	+3	15	+56.9%	

➤ 配当方針 : 安定的な配当を継続しつつ、利益水準に応じた配当額の向上を図る





【ご注意】

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

経営戦略室 IR担当

Tel 045-225-9396

E-mail ir-keikyu_t7z@keikyu-group.jp